

下^{した}

萌^{もえ}



▲シロバナタンポポの若芽

白い花を開くシロバナタンポポ。

九州は天草地方にのみ見られる変わった植物である。

めずらしさも手伝って、種子を採取し東京へ持ち帰って庭先にたねまきをする。

芽ばえた若芽は、東京で見られるタンポポやセイヨウタンポポとあまり変らないように見えるが、やがて白い花をつけ生れのちがいを示すことになるであろう。

文・写真 阿久澤栄太郎